8 宅地造成事業

(1) 事業数及び業務概要

平成28年度における宅地造成事業の事業数は15事業25地区(仙台市1事業3地区、石巻市2事業4地区、登米市1事業3地区、栗原市1事業2地区、東松島市1事業3地区、大崎市1事業1地区、大河原町1事業1地区、丸森町2事業2地区、亘理町1事業1地区、大郷町1事業1地区、大衡村1事業1地区、涌谷町1事業1地区、女川町1事業2地区)で、前年度に比べ1事業増加、1地区減少している。これを地区の造成目的別でみると、土地区画整理法に基づく造成事業が11地区、その他の造成事業が14地区となっている。

土地区画整理法に基づく造成事業の平成28年度末の完成面積は933千㎡で、計画総面積1,053千㎡の88.6%となり、その他の造成事業の完成面積は1,391千㎡で、計画総面積1,593千㎡の87.3%となっている。

その他の造成事業の造成地の処分状況は、完成面積1,391千㎡のうち、売却済面積が626千㎡ (完成面積の45.0%)、未売却地面積461千㎡ (同33.1%)、非売却地面積304千㎡ (同21.9%) となっている。

第1表 業務概況の推移

(単位:地区、千m²、%)

	年 度						対前年度比較		
			24	25	26	27	28	b - a	(c/a)
項目						a	b	С	×100
	地区数		10	13	14	13	11	▲ 2	▲ 15.4
土地区画整理法に基づく造	総面積	А	746	1,146	1,134	1,168	1,053	▲ 115	▲ 9.8
成	完成面積	В	290	421	445	959	933	▲ 26	▲ 2.7
	完成率	(B/A)×100	38.9	36.7	39.2	82.0	88.6	6.6	
	地区数		8	11	11	13	14	1	8
その他の造成	総面積	А	819	1,455	1,455	1,561	1,593	31	2.0
(内陸工業用地・住宅用地)	完成面積	В	614	597	597	1,013	1,391	378	37.3
	完 成 率	(B/A)×100	75.0	41.0	41.0	64.9	87.3	22.4	

(注)「I総論 第1表 地方公営企業の事業数の推移」は、13事業(団体数)であるが、造成目的別に細分化すると15事業25地区となる。

第2表 その他の造成事業の造成地処分状況の推移

(単位:千m²、%)

年 度								対前年度比較				
			\			24	25	26	27	28	b - a	(c/a)
項	E								a	b	С	×100
完		成		面	積	614	597	597	1,013	1,391	378	37.3
	į	売	;	却	済	300	292	360	407	626	219	53.8
う、	ち [未	売	却	地	257	255	187	371	461	89	24.0
	-	非	売	却	地	57	50	50	235	304	69	29.4

(2) 経営状況

宅地造成事業の収益的収支における総収益は77億86百万円で、前年度に比べ67億7百万円 (46.3%)減少しており、総費用は32百万円で、前年度に比べ28百万円(46.2%)減少している。この結果、収支差引では77億54百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が66億79百万円(46.3%)減少している。

また、資本的収支における収入は31億81百万円で、前年度に比べ30億51百万円(49.0%)減少しており、支出は142億31百万円で、前年度に比べ21億93百万円(13.4%)減少している。この結果、収支差引では110億50百万円の赤字となり、前年度に比べ赤字が8億58百万円(8.4%)増加している。

収益的収支と資本的収支を合わせた収支再差引は32億96百万円の赤字で、これに前年度からの繰越財源等を調整した実質収支は12億75百万円の黒字となり、前年度に比べ黒字が38億5百万円(74.9%)減少している。

なお、収益的収支比率は185.0%で、前年度に比べ164.3ポイント低下している。

(単位:百万円、%、人)

	_	_		年	度						対前年	度比較
						24	25	26	27	28	b - a	(c/a)
項	E			\	_				a	b	С	×100
		総	収	益	А	2,006	1,427	6,553	14,494	7,786	▲ 6,707	▲ 46.3
収	収	営	業収	益		2,005	1,410	6,542	14,428	7,773	▲ 6,655	▲ 46.1
		う	料 金 収	入		1,997	1,402	6,539	14,426	7,773	▲ 6,653	▲ 46.1
益			受託工事中	乙益		0	0	0	0	0	0	_
	入	ち	そ の	他		8	8	3	2	0	▲ 2	皆減
的		営	業外収	益		0	17	11	65	13	▲ 52	▲ 79.9
		うち	他会計繰り	金)		0	17	11	65	13	▲ 52	▲ 79.9
収		総	費	用	В	40	46	78	60	32	▲ 28	▲ 46.2
	支	営	業費	用		5	8	28	11	5	▲ 5	▲ 48.4
支		うせ	ら職員給与	費		0	0	0	5	4	1	▲ 23.0
	出	営	業外費	用		35	37	51	50	27	▲ 23	▲ 45.8
		う	ち支払利	息		35	35	44	44	26	▲ 18	▲ 40.6
	収	支	差 引(A	√ −B)	С	1,965	1,381	6,475	14,433	7,754	▲ 6,679	▲ 46.3
		資	本 的 収	入	D	2,752	6,411	5,632	6,232	3,181	▲ 3,051	▲ 49.0
資	収	地	方	債		106	2,942	3,906	3,727	1,562	▲ 2,165	▲ 58.1
		他	会計繰入	金		2,646	3,469	1,721	2,504	1,603	▲ 901	▲ 36.0
本		工	事 負 担	金		0	0	0	0	15	15	皆増
	入	国	・県補助	金		0	0	0	0	0	0	_
的		そ	Ø	他		0	0	6	0	0	0	
	支	資	本 的 支	出	Е	2,838	8,518	9,854	16,424	14,231	▲ 2,193	▲ 13.4
収		建	設 改 良	費		245	7,574	7,206	10,992	9,529	▲ 1,464	▲ 13.3
	出	地	方債償還	金	е	213	180	2,133	4,089	4,177	88	2.1
支	Ш	そ	0	他		2,380	764	515	1,342	525	▲ 817	▲ 60.9
	収	支	差引(D)–E)	F	▲ 86	▲ 2,107	▲ 4,222	▲ 10,192	▲ 11,050	▲ 858	8.4
収	支	再	差易(:+F)	G	1,880	▲ 726	2,253	4,241	▲ 3,296	▲ 7,537	_
積			<u>\frac{1}{1}</u>	金	Н	0	0	0	0	0	0	_
前	年	度力	いらの繰越	金	I	620	2,499	1,133	2,481	5,510	3,029	122.1
前	年	度	繰上充用	金	J	0	0	0	0	0	0	
形			z 支 (G-H+		K	2,499	1,773	3,386	6,722	2,214	▲ 4,508	▲ 67.1
翌 /	年度	をに	繰越すべき貝	才源	L	1,841	1,072	2,172	1,642	939	▲ 703	▲ 42.8
実	貨	Í.	収 支 (k	(-L)		658	701	1,215	5,080	1,275	▲ 3,805	▲ 74.9
	黒			字		658	701	1,215	5,080	1,275	▲ 3,805	▲ 74.9
ち	赤			字		0	0	0	0	0	0	
職			員	数		1	3	3	4	4	0	0.0
収	益	的丩	又支比率	A/(E	3+e)	792.9	631.4	296.4	349.3	185.0	▲ 164.3	